

ヒューマンライツ・ポリシー

- 前提

私たちは、「プロレスは常に日本の皆様の背中を押すものでありたい。」というスローガンのもと、スポーツ、エンターテインメントとしてのプロレスの社会的地位の向上を図りたいと思っています。そのためには、全てのプロレスラー、スタッフ、そしてファンの皆様の人権（ヒューマンライツ）を尊重することが出発点と考え、このヒューマンライツ・ポリシー（以下「本ポリシー」といいます。）を策定します。

- 基本的な考え方

プロレスは、激しい身体的接触を伴う闘いであり、リング内外で鍛え抜かれたプロレスラー同士による熱戦が繰り広げられます。しかし、リングや公開されるバックステージ等以外における、プロレスの枠を越えた暴言、暴力やハラスメントを許容するものではありません。私たちは、暴言・暴力やハラスメントはもとより、一切の人権侵害行為を決して認めず、健全なプロレス文化の発展のために全力を尽くします。

- 適用範囲

本ポリシーは、全ての会員（正会員及び賛助会員をいいます。以下同じです。）に適用されます。万が一、本ポリシーに違反する事例が発生した場合、会員間で共有すると共に、関係する会員に適切な対応を求めます。

また、会員の所属プロレスラー、スタッフ、事業に関わるパートナーに対しても、本ポリシーを遵守いただくことを強く期待します。

- コンプライアンス

私たちは、適用法令はもとより、国際的な人権規範の尊重に努めます。

- 差別の禁止

私たちは、性別、国籍・人種、年齢、障害・病気、宗教、職業、性自認・性的指向などにかかわらず、誰もが平等に生きられる社会を後押ししたいと考え、あらゆる差別のない世界の実現に努めます。特に、社会的弱者やマイノリティの方々については、かつて人権が十分に保障されなかった歴史的経緯があることを理解します。

- 労働者・フリーランスの人権尊重

私たちは、全ての労働者、フリーランス事業者が、適切な労働環境で労働し又は役務を提供できるように努めます。とりわけ、違法な強制労働や児童労働は排除し、未成年のプロレスラーについては教育を受ける権利に十分配慮します。プロレスリングが高度の身体的危険を伴う競技であるからこそ、あらゆる人権が保障されるリングづくりに尽力します。

- いじめ、誹謗中傷、ハラスメントの防止

私たちは、全てのプロレスラー、スタッフが安心してプロレスに取り組み、また、全てのファンの皆様に気持ちよく観戦してほしいと考えています。私たちは、プロレスにおける戦いと無関係に行われる、いかなるいじめ、誹謗中傷、ハラスメントも許容せず、また、これらを防止するための施策づくりに努めます。

- プライバシーの尊重

私たちは、全てのプロレスラー、スタッフ、ファンのプライバシーを尊重します。特に、インターネット上や SNS 上をはじめ、いかなるコミュニケーションにおいても、プロレスラーのプライバシーや私生活を侵害する行為を許しません。

- 教育・研修

私たちは、会員に対するセミナー等を通じて、本ポリシー及び人権意識の向上に努めるとともに、その内容をウェブサイト等で開示・報告します。

また、私たちは、人権侵害の根絶に向けて、社会における啓発活動に積極的に努めます。

[本方針は、2025 年 6 月 11 日の一般社団法人日本プロレスリング連盟理事会において、全員一致で承認されました。]